



目 次

- | | |
|--|---|
| 1. 汎用コンピュータの周辺機器の更新に伴う計算サービスの一時停止のお知らせ | 1 |
| 2. gsizeコマンド公開のお知らせ (VPP700/56) | 2 |
| 3. qpsコマンド公開のお知らせ (VPP700/56) | 2 |

大型計算機センターWWWホームページ

<http://www.cc.kyushu-u.ac.jp>

1. 汎用コンピュータの周辺機器の更新に伴う計算サービスの一時停止のお知らせ

本センターでは、汎用コンピュータシステム FUJITSU M-1800/20U の補助記憶装置として磁気テープライブラリ装置 F6455 2台 (UXP用, MSP用) を設置していますが、これを新機種 F6457 1台に更新することになりました。つきましてはこの入れ替え作業のため下記の日程で計算サービスを一時停止します。

また、新機種は次のようなメリットがありますので、従来よりもマストレージやバックアップのサービスが向上します。

- ・保存容量が 3158 GB から 5592 GB になり、マストレージの開放容量が増加します。
- ・接続ドライブ数が 1.5倍となり、ジョブの同時処理数が増加します。
- ・処理速度が速くなり、アクセス待ち時間が短縮されます。

なお、利用者の利用方法は従来どおりです。

記

停止機器	汎用コンピュータシステム	M-1800/20U
	スーパーコンピュータシステム	VPP700/56

計算機停止期間

平成9年6月 8日(日) 午前5時～平成9年6月 9日(月) 午前9時
平成9年6月15日(日) 午前5時～平成9年6月16日(月) 午前9時

(システム運用掛 ダイヤルイン 092-642-2307)

2. gsize コマンド公開のお知らせ (VPP700/56)

スーパーコンピュータ VPP700/56 上の Fortran 90/VPP で作成した並列実行ファイルが必要とするグローバル変数の領域の大きさを表示するコマンド `gsize(/usr/local/bin/gsize)` を公開します。

`gsize` コマンドは `kyu-vpp` からのみ利用できます。

```
kyu-vpp% gsize b.out
-----
global array information :
total size      -      50680461KB ( 4) on 32 pe's
partitioned    -      50680461KB ( 4)
non-partitioned -           0KB ( 0)
max. size / pe -      1583764KB
-----
```

実行ファイルは約 48GB のグローバル変数を必要とし、1PE あたりに必要な領域が約 1.5GB であることがわかります。

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)

e-mail : syskan@cc.kyushu-u.ac.jp

3. qps コマンド公開のお知らせ (VPP700/56)

`qps` コマンドは `qsub` コマンドで実行依頼した NQS バッチジョブの実行状態を表示するコマンドです。汎用計算機 M-1800 の `kyu-cc` 用 `qps` コマンドはすでに公開していますが、今回新たにベクトル並列型スーパーコンピュータ VPP700 用の並列対応 `qps(/usr/local/bin/qps)` コマンドを公開します。VPP700 用 `qps` コマンドは、複数 PE (Processing Element) で並列実行中のジョブの各 PE の CPU 使用時間や最大使用 CPU 時間を表示します。

使用例中の `kyu-vpp%` は VPP700 (ホスト名 `kyu-vpp.cc.kyushu-u.ac.jp`, IP アドレス 133.5.9.70) の TSS のプロンプトです。

【使用例】

`kyu-vpp% qps`

que	user	request	cpu	vu	vu/cpu	cpu-limit	elapse	v-mem(MB)
p1	a79999a	17672. kyu-vpp	1:52:49	1:48:04	95%	20:00:00	1:53:35	752/1792
p8	a79999a	17677. kyu-vpp	1:45:28	1:31:44	86%	20:00:00	1:53:40	1144/1792
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨ ⑩

①キュー名

②ユーザ名

③リクエスト名 (`qdel` コマンドでジョブをキャンセルするときに指定します)

④最大使用 CPU 時間 (時:分:秒)

⑤ベクトルユニット使用時間 (時:分:秒)

⑥ベクトル化率

⑦CPU 制限値 (時:分:秒)

⑧ジョブ実行開始からの経過時間 (時:分:秒)

⑨ジョブが実際に使用しているベクトルメモリサイズ

⑩`qsub` コマンドでジョブの実行依頼をしたときに要求したベクトルメモリサイズ

- p オプションを指定すると並列実行中のジョブの各 PE の CPU 時間を表示します。

```
kyu-vpp% qps -p
que user      request      cpu      vu      vu/cpu  cpu-limit  elapse  v-mem(MB)
p1  a79999a 17672.kyu-vpp 1:52:49  1:48:04  95%    20:00:00  1:53:35  752/1792
p8  a79999a 17677.kyu-vpp 1:45:28  1:31:44  86%    20:00:00  1:53:40  1144/1792
      parallel—> 1:45:12  1:31:21  86%
      parallel—> 1:43:48  1:30:45  87%
      parallel—> 1:43:38  1:30:34  87%
      parallel—> 1:44:01  1:30:28  86%
      parallel—> 1:43:28  1:30:26  87%
      parallel—> 1:44:27  1:30:53  87%
      parallel—> 1:44:26  1:30:50  86%
```

なお, kyu-cc やユーザインタフェースワークステーションからは次の様に使用してください。

```
rsh kyu-vpp /usr/local/bin/qps
```

(システム管理掛 ダイヤルイン 092-642-2308)